

別表第一号 モールス符号(第十二条関係)

1 和文

一 文字	
・－	イ
・－・－	ロ
－・・・	ハ
－・－・	ニ
－・・	ホ
・	ヘ
・・－・・	ト
・・－・	チ
－－・	リ
・・・・	ヌ
－・－－・	ル
・－－－	ヲ
－・－	ワ
・－・・	カ
－－	ヨ
－・	タ
－－－	レ
－－－・	ソ
・－－・	ツ
－－・－	ネ
・－・	ナ
・・・	ラ
－	ム
・・－	ウ
・－・・－	キ
・・－－	ノ
・－・・・	オ
・・・－	ク
・－－	ヤ
－・・－	マ
－・－－	ケ
－－・・	フ
－－－－	コ
－・－－－	エ
・－・－－	テ

— — . — —	ア
— . — . —	サ
— . — . .	キ
— . . — —	ユ
— . . . —	メ
. . — . —	ミ
— — . — .	シ
. — — . .	エ
— — . . —	ヒ
— . . — .	モ
. — — — .	セ
— — — . —	ス
. — . — .	ン
. .	、 、濁点
. . — — .	○半濁点
二 数字	
. — — — —	一
. . — — —	二
. . . — —	三
. . . . —	四
.	五
—	六
— — . . .	七
— — — . .	八
— — — — .	九
— — — — —	○
三 記号	
. — — . —	—長音
. — . — . —	、区切点
. — . — . .	」段落
— . — — . —	(括弧
. —)

2 欧文

一 文字	
. —	A
—	B
— . — . .	C
— . . .	D

・	E
・ ・ — ・	F
— — ・	G
・ ・ ・ ・	H
・ ・	I
・ — — —	J
— ・ —	K
・ — ・ ・	L
— —	M
— ・	N
— — —	O
・ — — ・	P
— — ・ —	Q
・ — ・	R
・ ・ ・	S
—	T
・ ・ —	U
・ ・ ・ —	V
・ — —	W
— ・ ・ —	X
— ・ — —	Y
— — ・ ・	Z
二 数字	
・ — — — —	1
・ ・ — — —	2
・ ・ ・ — —	3
・ ・ ・ ・ —	4
・ ・ ・ ・ ・	5
— ・ ・ ・ ・	6
— — ・ ・ ・	7
— — — ・ ・	8
— — — — ・	9
— — — — —	0
三 記号	
・ — ・ — ・ —	・ 終点
— — ・ — —	， 小読点
— — — ・ ・ ・	： 重点又は除法の記号
・ ・ — — ・ ・	？ 問符
・ — — — — ・	’ 略符
— ・ ・ ・ ・ —	— 連続線、横線又は減算の

— . — . .	記号
— . — . . —	(左括弧
— . . — .)右括弧
— —	/斜線又は除法の記号
. — . — .	=二重線
. —	+十字符又は加算の記号
— . . . —	“ ” 引用符
. —	×乗算の記号
	@単価記号

3 数字の略体

. —	一又は1
. . —	二又は2
. . . —	三又は3
. . . . —	四又は4
.	五又は5
—	六又は6
—	七又は7
— . . .	八又は8
— .	九又は9
—	○又は0

注

一 符号の線及び間隔

- 1 一線の長さは、三点に等しい。
- 2 一符号を作る各線又は点の間隔は、一点に等しい。
- 3 二符号の間隔は、三点に等しい。
- 4 二語の間隔は、七点に等しい。

二 航空無線通信業務における字、記号の使用法

- 1 記号は、和文では区切点及び段落、欧文では終点、間符及び斜線に限り、その他の記号の使用は、本文を理解するために必要な場合に限る。
- 2 ローマ数字を送る場合は、ROMANの語を冠して送るものとする。

三 欧文の場合における数字と文字との集合、「%」、「‰」、帯分数、分及び秒等の送信方法

- 1 数字と文字とで構成した集合は、数字と文字との間に間隔を置かずに送るものとする。
- 2 「%」又は「‰」の記号は、数字の零、斜線及び数字の零又は零零を連続して送るものとする。
- 3 帯分数は整数と分数との間に、「%」又は「‰」の記号を伴う数字は数字と「%」又は「‰」との間に連続線を送るものとする。
- 4 分の記号「'」は略符を一回、秒の記号「"」は略符を二回送るものとする。